

- 債権各論 (〃 4) '93
 WeGe zum japanischen Recht. '92
 川那部浩哉 地球共生系とは何か (シリーズ地球共生系1) '92
 田端 守・本多義昭
 A Report on Traditional Medicine
 and Medicinal Plants in Turkey
 (1990, 1991). '93
 上田皖亮 The Road to Chaos. '92
 土岐憲三 The Great Earthquake in Japan, 1891.
 (Second Edition) by J. Milne &
 W. K. Burton 複製版 '93
 濃尾震災地写真 (34枚) 複製版 '93
 西村博行 Agriculture in Urbanizing Areas:
 Conflicts and Ways Towards
 Harmony- Southeast Countries
 and Japan. '92
 中村重久 International Who's Who of
 Intellectuals. Tenth Edition.
 '93
 文学部国史研究室
 京都大学文学部博物館の古文書 第10
 輯: 葛川明王院文書 '93
 同 第11輯: 永昌記紙背文書 '93

- 文学部博物館
 紫金山古墳と石山古墳 (京都大学文学
 部博物館図録第6冊) '93
 人文科学研究所
 法的思考の研究 山下正男編 '93
 家族・世帯・家門: 工業化以前の世界
 から 前川和也編著 '93
 「満洲国」の研究 山本有造編 '93
 中國中世の文物 礪波護編 '93
 あるドイツ語教室の歴史の会
 Durst あるドイツ語教室の歴史 '93
 農学部創立70周年記念事業会
 京都大学農学部70年史 '93
 京都大学学術出版会
 実践宗教の人類学: 上座部仏教の世界
 田辺繁治編著 '93
 スラッファ経済学の現代的評価 菱山
 泉著 '93
 ニューディール政治秩序の形成過程の
 研究: 20世紀アメリカ合衆国政治
 社会史研究序説 紀平英著作 '93
 (図書受入掛)

ご存知ですか? — 雑誌及び特殊資料の利用 —

雑誌と特殊資料は、3階北側にある雑誌・特殊資料掛の担当です。本館の雑誌関係では、学内バックナンバーセンターや、国内の理工系外国雑誌センターの活動が特徴と言えます。また、特殊資料関係での特色は、重要文化財を含む多くの貴重書や、国内でも3機関しか所蔵していないHRAF資料です。以下にこれらを含む資料の閲覧や利用について簡単に紹介します。

詳細は、利用案内や1階ないし3階のカウンターでお訊ね下さい。

1) 雑誌

外国の雑誌、国内の雑誌、紀要類、逐次刊行物(年鑑、白書など)など、購入したものに限らず、寄贈されたもの、交換によるものなどの資料が含まれます。受付の済んだ資料は、ラベル装備などをし

てから書架にならべられますので、利用される場合は直接書架に行くか、1階カウンターで手続きをとることになります。

平成5年度に購入している、和雑誌は254タイトル、洋雑誌は1,107タイトル、また寄贈、交換などで受け入れている和雑誌、紀要類が2,475タイトル、外国雑誌(中国語、ハングルなどを含む)が325タイトルとなっています。

購入洋雑誌の内訳は、外国雑誌センター館(注)の理工系の雑誌が9割ほどを占め、残りは図書館情報学関係の雑誌などとなっています。この中の理工系雑誌の中から14点を選び、目次や抄録などを光ディスクに入力し、そのデータを宇治地区の端末画面から学内LANを経由して見ることのできるEFS(電子ファイリングシステム)サービスを試験的に行っています。

地下書庫にあるバックナンバーセンター（BNC）は、全学的な書庫スペースの有効利用をするために、学内の雑誌のバックナンバーを集中的に管理するものです。もちろん、学内のすべてのバックナンバーが揃っているわけではありませんが、現在約8,700タイトルが収納されています。

（注）外国雑誌センター館

国内における学術的な外国雑誌の網羅的な収集のために、昭和52年度から文部省によって始められた制度。理工学系、医学・生物学系、農学系、及び人文・社会科学系の4分野に別れ、京都大学は昭和62年度に理工学系のサブセンターに指定され、理工学系のセンターである東京工業大学と連絡をとりながら、国内未収誌を中心に精力的に収集している。



2) 特殊資料

特殊資料には、マイクロ資料、AV（Audio Visual）資料、学位論文、貴重図書、HRAF 資料などが含まれます。

(1) マイクロ資料

マイクロフィルム、マイクロフィッシュ形態による、図書（貴重書を含む）、雑誌、新聞などがあり、5台のリーダープリンターによるサービスを行っています。なお、これらのリーダープリンターは原則として、附属図書館にあるマイクロ資料を利用する場合に限り使用できます。

(2) AV（Audio Visual）資料

語学テープを中心に、英独仏露中日、手話等のほか、ビデオが約30種類、カセットが24種類あります。これらのテープは3階のAVブースで利用します。なお、AVブースでは図書館のテープに限り利用できます。

(3) 学位論文

京都大学で博士号を授与した学位論文約2万3千件余りを保管しています。利用する場合は前もって申し込んで下さい。複写する場合は、部分複写を除いて著者の許諾が必要です。

(4) 貴重書

附属図書館で貴重書扱いされているもの（絵図、器物なども含む）は、2万点以上あり、これらは地下の貴重書庫に保管されています。利用する場合は事前に閲覧願いを提出することになっております。院生、学生などの場合は指導教官の理由書が必要となります。貴重書の中には、重要文化財に指定されているものが39種類、170点ほどあります。これらは、原則として原本の利用はできませんので、マイクロフィルム、あるいは複製本を利用します。

なお、これらの貴重書の一部は、例年行われる附属図書館の展示会で一般公開されているばかりでなく、学外の公的機関（博物館など）の展示会などに貸出する場合があります。

(5) HRAF 資料

HRAFとはHuman Relations Area Filesの略で、比較文化の観点から、世界の諸民族、諸地域の社会を対象に実証的な研究業績（図書、雑誌等）を集め、該当する頁を1枚ずつに分解し、それらをHRAF独自の分類表によって体系的に整理したものです。京都大学は1962年にHRAFの正式メンバーとなり、アメリカのエール大学に置かれている本部から継続的に資料が送られてきます。文化人類学をはじめとした研究に大いに役立つ資料といえます。

（雑誌・特殊資料掛）

お知らせ

オンライン目録検索サービスを拡大します

本館は本年1月、図書館専用の汎用電子計算機を

更新しました。詳細は次号に紹介しますが、これを機会にオンライン目録検索（OPAC）サービスを、